

遙かなる大陸の風景

大阪教育大学 佐久間敦史

～釣りやムシとり、ガーデニングなどアウトドアな遊びから、お部屋づくり・ファッションまで様々な趣味を、1年を通してお楽しみいただけます。今作では「たぬき開発」のプロデュースする「無人島移住パッケージプラン」で無人島に移住し、まったくゼロからの新生活が始まります～

何のことかおわかりでしょうか。これは任天堂のwebページからの引用で、人気を博したゲームの紹介文です。もしゲームと知らなければ、コロナ禍で何かと制限の多い生活が続く中、実際に無人島に渡り、少し癒されるかもと思われたかも知れません。

さて今回も、「研究授業」のお話です。コロナ禍の厳しい状況でも、先生方は、子どもたちが楽しく学習できるよう、日々研鑽を積まれています。この日、大阪府北部の中学校では、1年生・社会科で「地形図」の授業が行われました。教科書には地図記号や何重にも引かれた「等高線」が描かれていて、大人でも難しいところです。

授業が始まりました。すると、教室の大きなスクリーンに映し出されたのは、先の無人島のゲーム（著作権許諾済）です。子どもたちは全員釘付けで、驚きと笑顔です。その後、〇〇島（学校名）の白地図が配られ、無人島の移住・開発計画に移ります。白地図には予め、その島にある山が「等高線」で描かれていて、その規模や傾斜も利用しての無人島の移住・開発計画となります。子どもたちは、自分の島を設計することで、創造性豊かに、楽しみながら「地理」の学習をしていきました。

このクラスには、中国からの帰国生徒がいました。まだ日本語が十分に話せず、通訳者を介しての中学校の難しい学習には苦勞をしていて、この授業でも、先生方がより注目していました。子どもたちが楽しそうに設計した島には、たいてい、千葉と大阪にあるテーマパークが建設され、大型ショッピングモール、空港、カフェ、住居、学校などが、所狭しと並べられました。ところがその生徒は、島の大きな範囲を「荒地」としました。そして、「危ないので、むやみに入らないで」と中国語で書き、唯一無二、注目を集めました。この生徒が生まれ育った遙かなる大陸の風景なのでしょう。もしこの子がいなければ、このクラスの子どもたちが描いた島は、狭い土地にたくさんを詰め込んだ、いかにも一様なものでした。学びの広がりや深まりのためにも、多様性の尊重は重要です。